

2013.7.3

ソーラボジャパン株式会社

フル機能搭載の小型パワーメータPM160を発売

光学製品の総合メーカー、ソーラボグループ(本社:米国ニュージャージー州ニュートン)は、パワーセンサ内蔵のフル機能搭載ワイヤレスパワーメータPM160を発売いたしました。PM160には、手元操作用の有機EL(OLED)スクリーンと、PCによる遠隔操作用のBluetoothワイヤレス通信機能とUSBポートが付いています。Bluetooth利用中でも20時間の連続使用が可能なバッテリーを搭載し、USB経由で充電も可能です。

400~1100 nm範囲の光が検出可能で、 $\varnothing 9.5$ mmの極薄シリコンセンサによって10 nW~2 mWの光パワーを測定できます。また、センサーアームに付属しているスライド式のNDフィルタを使用することによって、測定可能な最大パワーを200 mWまで引き上げることができます。各パワーメータは、個別較正済みで、較正証明書付きでお届けします。

ソーラボグループでは、すでにLASER World of PHOTONICS(5/13~16、ミュンヘン/ドイツ)とCLEO(6/11~13、サンノゼ/米国)、Neuro2013(6/20~23、京都)でPM160を実機展示し、大きな反響をいただきました。パワーメータの筐体はスリムで持ちやすく、さまざまな構成が可能になるよう、ポスト取付け用のタップ穴も3箇所が付いています。センサに付いているアームは、わずか3.5 mmの厚さ(フィルタを付けると6 mm)で、最大270°の回転が可能のため、狭いスペースでの光パワー測定にもご使用いただけます。また、付属のアダプタによって、光ファイバーシステムへの組み込みも可能です。

OLEDスクリーンのメニューを使って手元で操作する際には、パワーメータの値をゼロにして、入射ビームの平均パワーを表示するようにプログラムできます。また、個別に設定された測定時間における最大パワーを出力するよう設定することも可能です。遠隔操作も可能なため、個別に設定した時間内の複数の測定を記録・保存するなどの追加機能もお使いいただけます。

PM160の特長

- ・極薄シリコンセンサで400~1100 nmの光を検出
- ・10 nW~2 mWの光パワーを測定
(NDフィルタ使用時は最高200 mWまで測定可能)
- ・最大270°回転可能なセンサーアーム
- ・有機ELスクリーンで手元操作が可能
- ・Bluetooth機能とUSBポートによる遠隔操作も可能
- ・最大20時間の連続動作、充電可能なバッテリーを搭載



●製品詳細はこちら>>

www.thorlabs.co.jp/newgroupage9.cfm?objectgroup_id=7233

お問い合わせ先

ソーラボジャパン株式会社

Tel: 03-5979-8889

●製品に関するお問い合わせ >> sales@thorlabs.jp

●報道関係者からのお問い合わせ >> marketing.jp@thorlabs.jp

<http://www.thorlabs.co.jp>